

長野県議会 改革・緑新  
代 表 倉 田 竜 彦

## 来年度予算案策定に当たっての提案

日頃は県民生活向上のため、大変なご尽力を賜っておりますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年12月26日に平成20年度当初予算の各部局からの要求概要が公表されました。

平成20年度予算編成について改革・緑新では、県民の皆様から寄せられたご要望や意見を踏まえ、昨年11月20日に村井知事に「当面の県政課題に関する提案」とともに、217項目の「平成20年度予算編成に関する提案書」を提出して来ました。これらの経過を踏まえ、今回公表された「各部局からの要求概要」の内容を拝見し、私達会派の提案が多く盛り込まれていることを評価するものですが、中期総合計画策定後をはじめ行う予算編成であり、県民が夢を持てる県政を確立するためにも、次の課題について追加して提案することに致しました。

つきましては、来年度の予算案策定に当たり十分に配慮され反映されますようお願い致します。

### 記

1．平成20年度当初予算の各部局からの要求概要が公表されましたが、今予算編成は中期総合計画での主要施策を予算化する初年度であり、策定した計画により県民が将来に夢を持って、目標に向かって共に歩む姿勢を分かりやすく示されたい。

具体的には、中期総合計画で掲げた計画や数値目標を達成するための予算であることを示すとともに、その達成目標は何%であるかも示されたい。

2．予算案の公表に当たっては、セットで「中期財政試算」を示されたい。

3．市町村やNPOから行政と住民の狭間を埋め、地域の活性化を図る予算として要望の多い「地域発 元気づくり支援金」について、各部局からの要求概要では、今年度約10億82万円から9億105万に減額されていることから、少なくとも今年度の水準を確保されたい。

4 . 前知事が削減し続けた道路維持管理予算等により、現場では県民要望に対応が追いつかない現状について、12月議会では全議員の賛成で「道路維持管理予算の確保に関する決議」を可決しましたが、各部局からの要求概要では減額されています。

道路・河川等の維持管理と安全の確保は、管理者である行政の責任であり、県民生活にとって必要不可欠であることから、県民要望に対応できるよう十分な予算措置を講じられたい。

5 . 議会で賛成多数で可決された「森林づくり県民税」の導入は、新たな税を県民に求めることから、私達会派が提案し可決された「附帯決議」の内容を尊重し対応されたい。

6 . 介護や福祉事業者の人材確保が危ぶまれている現状を踏まえ、持続可能なサービスを確立するため、介護保険法や障害者自立支援法の見直しを、さらに国に強く求められたい。

また、医師等の確保策についても、「医師不足地域に対する国レベルの緊急臨時的医師派遣システムの構築」を求めるなど積極的に推進されたい。

7 , アルピコグループの実質債務超過や、その後の信南交通の一般路線バスの直営からの撤退方針表明など、地域の生活バス路線の維持確保は危機的状況にあります。

地球温暖化防止対策や少子・高齢化対策、限界集落対策等々、本県にとって地域生活交通の維持確保は必要不可欠な課題であり、市町村や事業者と連携を強め真剣に取り組まれたい。

特に、国の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を活用した「地域公共交通活性化・再生総合事業」の積極的な導入を図られたい。

8 . 偽装表示等が相次ぎ食の安心・安全に対する信用が揺らいでいることから、「食品安全条例（仮称）」を検討されたい。

9 . 鳥獣害対策として、地域要望に応えられるような総合的な被害対策を支援する体制づくりと、進入防止柵など防除対策の支援拡充への予算を確保されたい。

また、農地・水・環境保全向上対策の推進を図るための組織づくり等、現場の要求に応えられるよう支援の拡充のための予算を確保されたい。

10 . 年々拡大する荒廃農地解消のための支援策と地産地消運動の推進、県産農産物の販路と消費拡大のためのマーケティング対策の拡充、観光振興とも連携した都市と農村の交流促進、米消費拡大のための諸対策の推進、オリジナル品種や新品目の導入など競争力の高い園芸産地の育成のための支援策の拡充に積極的な予算を計上されたい。

以上